

# Sankka

讃歌  
冬号

京都九条病院 Communication Book

特集

内科部長に  
お聞きしました。

『スペシャリスト』として、  
『ジェネラリスト』として、  
患者さんのニーズに  
応えられる医療を目指しています。

特集

山木院長にお聞きしました。

質の高い医療を目指して、  
京都の救急医療、地域医療に貢献していきます。

コミュニケーション広場

健康は毎日の食事から「医食同源」講座 第9 講目  
暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第10 講目  
ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第14 弾  
私の病院自慢あれこれ 第14 回

院内散策

第3 回京都九条病院  
病診・病病連携セミナー



院長 山木垂水



内科部長 岩瀬豪

vol.14  
2009 Winter  
冬号

『スペシャリスト』として、  
『ジェネラリスト』として、  
患者さんのニーズに  
応えられる医療を  
目指しています。



Tsuyoshi Iwase

京都九条病院 内科・消化器内科 内科部長 岩瀬 豪

消化器内視鏡学、消化器病学の2つの分野で、  
指定病院として公的に認められました。

京都九条病院は平成20年12月、日本消化器内視鏡学会の指導施設に認定され、平成21年1月には日本消化器病学会認定施設の指定を受けました。これらは、消化器内視鏡、消化器医療の施設として十分な設備が整っていて、高い専門性を備えた指導者がいると認定された病院に与えられるものです。私たちはこれまで、これらの分野で実績を積み基盤作りを進めてきましたが、ようやくそうした努力が実り、公的に認められたことをとても嬉しく思っております。

さらに2つの学会認定を受けただことで、それぞれの学会の研究病院として専攻医を受け入れ、専門知識を持った医師の育成に力を注ぐことが出来るようになりました。専攻医は認定施設で専門医の指導を受けて技量を磨き実績を積むことが求められますが、特に内視鏡の専門医を目指す若手にとって、この分野のエキスパートである光藤章二先生が消化器内視鏡センター長をつとめる当院は、高水準の指導

を受けられる研修施設ではないかと考えております。京都九条病院では、これまでも日本救急医学会の専門医指定施設として、救急医を目指す若手医師を受け入れてきました。これからは消化器内視鏡学、消化器病学の分野でも多くの専攻医を受け入れ、当院にとってだけでなく、広く消化器内視鏡学、消化器病学の分野に貢献できるよう、優れた専門医を育てていきたいと思っております。



日本消化器内視鏡学会  
指導施設証



日本消化器病学会 認定施設証

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。  
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す  
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



内視鏡機器

高齢者の社会的支援から  
急性期の高度な手技まで行える内科でありたい。

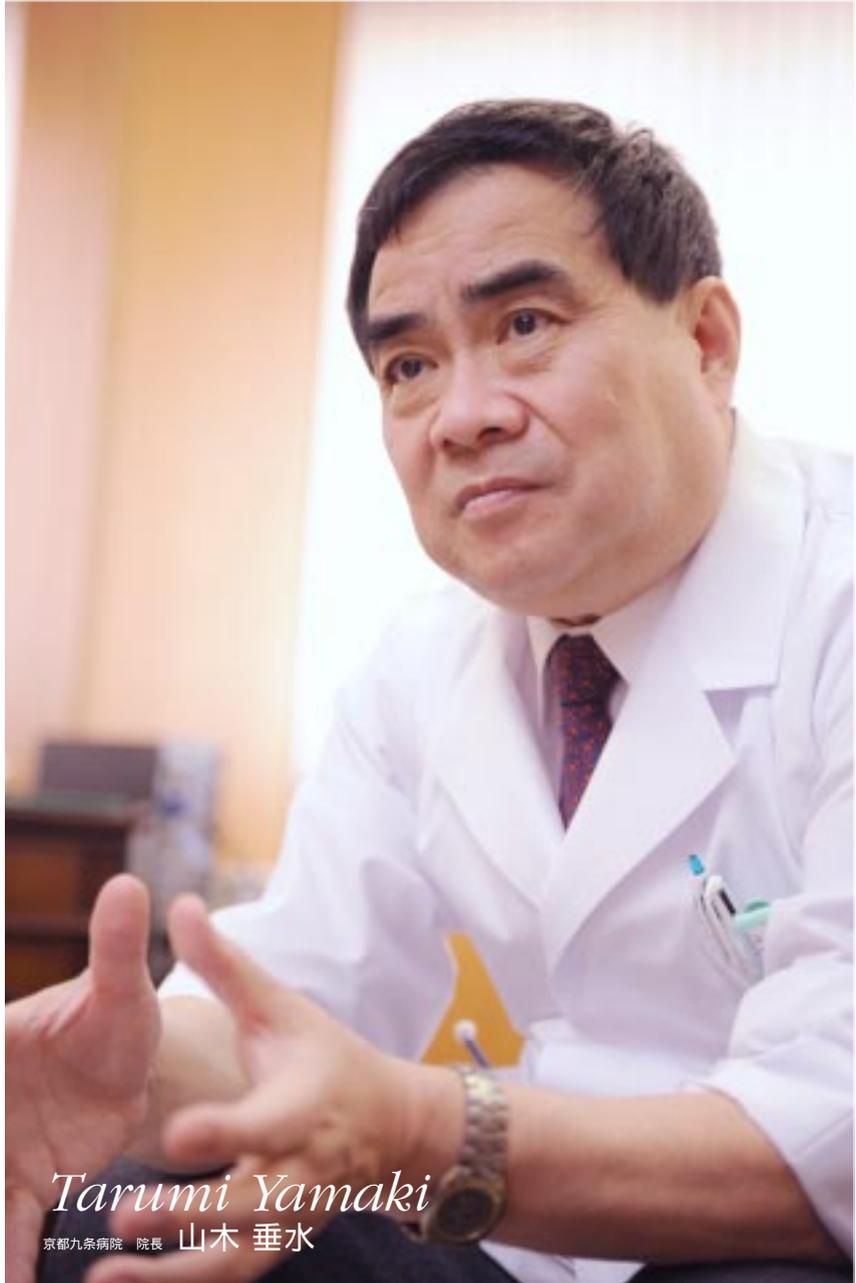
昨年7月から光藤先生を中心とした京都府消化器診断ネットワークが本格稼働し、当院はネットワークの中核病院として位置づけられ、認知度も高まってきています。また、肝臓を大門先生が担当し、糖尿病病クリニックを江端先生が腎臓内科クリニックを森先生が担当してくださるようになり、それぞれの分野での専門性が高まり、内科としての厚みを増してきました。

わたしたちはそれぞれ高い専門性をもつスペシャリストを目指す一方で、地域密着型の中堅病院の内科医として患者さんのあらゆるニーズに応えられるジエネラリストでありたいと思っています。

内科は病院の「窓口」的な診療科ですから、受診されるのは風邪や腹痛を訴える患者さんから手術を要する急性期の患者さんまでさまざま。多様な疾患に対応できる広く深い知識と技量を身につけ、体の調子が悪いと感じたら気軽に受診できて、癌などが見つかった場合には、安心して治療を受けていただける、そんな病院を目指しています。

さらに高齢の患者さんの場合、単に疾患だけでなくその方の生活全体を考えた対応が求められます。とくに独居高齢者をどのようにサポートしていくかはこれからの大きな課題です。病診連携やスタッフ間の連携を進めながら、医療面からのサポートだけでなく、社会的なサポートも視野に入れた活動をしていきたいと考えています。

もともと私の専門分野は消化管疾患ですので、光藤先生の指導のもと、内視鏡医師としての専門性により磨きをかけたいと考えていますが、多様なニーズに応え続ける京都九条病院で、一般内科医としてこれからも多くの経験を積み、成長し続けていきたいと思っています。



Tarumi Yamaki

京都九条病院 院長 山木 垂水

## 特集

2

山木院長にお聞きしました。

# 質の高い医療を目指して、 京都の救急医療、 地域医療に 貢献していきます。

京都の  
救急医療システムも  
危機的状況に  
なりつつあります。

いま救急医療問題が深刻化しています。東京では、脳出血になった妊婦の救急搬送の受け入れが拒否されて患者が死亡するという事故があり、報道でも大きく取り上げられました。「つじした」をき

かけに救急医療を巡るさまざまな問題が顕在化し、批判が高まっています。一般の人たちの間にも「いざという場合、適切な治療を受けられるのか」という不安感が広まっています。

この状況を受け、昨年11月29日に京都府医師会・京都府病院協会・京都私立病院協会主催の「第7回京都救急医療研究会」が開催されました。

埼玉医科大学総合医療センター・高度救命救急センターの堤晴彦教授の基調講演に続き、京都の救急医療の中枢を担う救命センターである京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、地方の救急医療機関の代表として公立南丹病院、二次救急医療機関を代表して京都九条病院、京都市消防局の5者が参加して、「京都の救急医療体制は維持できるか」というテーマでシンポジウムを行い、京都の救急医療の問題点について話し合いました。

基調講演をされた堤晴彦教授は、「埼玉ですすでに救急医療システムが崩壊している」とお話しになっていましたが、実は京都でも危機的状況にあるのです。現在、京都には前

述の京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院と、独立行政法人国立病院機構京都医療センターの3つの救急センターがありますが、そこに毎日膨大な数の患者さんが搬送されてきている。東京では受け入れ先が決まらず、救急車が患者さんに乗せたまま8時間も待機したという話を聞きます。そうした他府県に比べれば、いまのところ京都の救急医療システムはうまく機能しているようですが、このまま急患の増加が続けば、いずれ救命センターは疲弊していつてセンターが受け入れを断るケースが増えてくるかもしれません。現在でも、センターが受け入れることができないので、当院に患者さんが送られてくるケースもあり、もうかなり限界に近づいてきているのではないかと感じています。

その原因の一つは、当院と同じように二次救急病院としてこれまで救急患者さんを受け入れてきた公立・民間の病院が急性期医療から離れつつあることです。急性期医療では非常に質の高い専門性を問われます。質の高い医療を提

供しようとする、大変なマンパワーと高額な設備投資が必要となる。これらがすべて悪循環となって救急医療から離れる病院が増えていると考えられます。そのためにセンターに患者さんが集中し、非常に忙しい状況になっているわけなのです。

脳卒中だけを見ても、京都の急性期医療が危ないことは明らかです。昨年の11月、京都府の脳卒中の急性期医療を担う医療機関として当院は京都府保健医療計画に明記されました。いま、脳卒中はt.P.A(血栓溶解療法)といつて3時間以内に行えば効果があるという治療法が推進されており、できるだけ早く治療を施すことが求められているのですが、北区や左京区にはそうした治療を行える病院がありません。そのために、北区や左京区、京都府下からも当院に救急車がやってくるという状況になっています。病院はたくさんあるのだけれど、命に関わるような重症な患者を受け入れなくなってきた。

すでに京都市内でも危ない、という状況がこうしたことからもご理解頂けるでしょう。

**スタッフ全員が専門性に磨きをかける努力を重ねています。**

そんななかにあつて、京都九条病院は一貫して積極的に救急医療に携わってきました。

207床、常勤医20名の中堅病院ですが、そのうち救急医学会が認定する専門医が7名もいるという病院は京都でも少ないでしょう。この規模で救急医療を担い続けられるのは、スタッフ全員がスペシャリストでありつつジェネラリストでありたいという信念を持って従事している

### 京都九条病院「市民講習会」開催



昨年10月18日、京都九条病院の1階ロビーを会場に、当院の脳卒中センターの看護師が主催して「市民講習会」を行いました。これは、高齢化などによって脳卒中に罹る人が増えており、さらに脳卒中が高齢者にとって要介護や寝たきりになる最大の原因になっていることから、脳卒中について広く知っていただく目的で開いたもので、当日は100名を超える地域の方々が参加してくださいました。講習会では、Stroke teamの看護師が脳卒中の症状や原因などについてわかりやすく説明し、脳卒中にならないために生活習慣病の予防をしましょうと呼びかけました。



からに他なりません。

また、救急病院として質の高い医療を提供するためには優れた専門性が要求されます。そういう意味でも、最近当院が「日本消化器内視鏡学会指導施設」「日本がん治療認定医機構認定研修施設」「日本消化器病学会認定施設」「日本外科学会外科専門医制度修練施設」の4つの認定を受けたことは、スペシャリストとしてのクオリティが高まってきているということの証明であり、スタッフが専門性に磨きをかける努力をしてきた結果だと誇らしく思っています。

ドクターだけではなくありません。ナースもスペシャリストを目指して頑張っています。「脳卒中セミナー」や「脳卒中初期診療ガイドライン」のコースに参加し、院内でナース中心の脳卒中の勉強会を毎月行っています。また、自分たちが主導して市民向けの「市民講習会」を開くなど、看護師の立場から脳卒中に立ち向かっています。

これからも二次救急医療機関として、常に良質な医療を提供できるよう、専門性を高め、京都の救急医療、地域医療に貢献していく所存です。

**京都九条病院が京都府献血推進協議会会長表彰を受賞しました。**



当院は、昨年10月に京都府公館で催された「平成20年度献血運動推進協力団体等及び薬事関係功労者表彰式」において、「京都府献血推進協議会会長表彰」を受賞しました。この賞は、長年にわたって献血活動に貢献してきた京都府の企業や団体に贈られるもので、毎年献血を実施してきた当院の取り組みが評価されたものです。献血の大切さを最もよく知る医療機関の一員として、これからも献血への理解を深め、さらに活動を推進していきたいと思っております。





れんこん団子のみぞれ汁

材料(4人分)  
1人分のエネルギー172Kcal  
蛋白質2.9g、ビタミンC 37.1mg、  
食物繊維2.0g、食塩1.3g

- れんこん.....220g
- 片栗粉.....11g(大さじ1)
- 薄口しょうゆ.....6g(小さじ1)
- 卵白.....1/2ヶ
- 揚げ油.....適量
- 大根おろし.....200g(中1/5本)
- かいわれ大根.....10g(1/8パック)
- だし汁.....400cc(カップ2)
- みりん.....25g(小さじ4)
- 薄口しょうゆ.....25g(小さじ4)

れんこんの皮を剥き、すりおろす。

▼  
に薄口しょうゆ、卵白を入れ、団子にする。

▼  
180に熱した油に、を入れ、浮き上がってきたら、取り出し、油を切っておく。

▼  
だしに、みりん、薄口しょうゆを入れ、一煮立ちしたら、大根おろしを入れる。

▼  
器に を入れ、 をかけ、彩りにかいわれ大根をのせ、出来上がり。

温かくなったり、急に寒くなったりと、体調を崩しやすい時期になりました。暖房の中でぼかぼか心地よい場所は乾燥してはたくさんの菌が待っています。こんな季節を上手に乗り切るためには、体調を整えて抵抗力をつけ、またウイルスに接触しないことです。

大豆鶏肉などビタミンCは、プロポリスやビタミンれんこん等果物、野菜いも類に含まれています。ビタミンAは、にんじんやほうれん草などの緑黄色野菜に含まれ、加熱をし、油脂と一緒に食べるのが吸収率をよくするポイントです。

ビタミンCは、抗酸化作用、免疫力アップ、コラーゲン合成、メラニン色素の抑制などのほか、ストレス対策にも効果があります。ストレスというが精神的なものばかりを思い浮かべますが、体に負担をかける寒さ、もやはりストレス。消耗し

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師：京都九条病院 管理栄養士

尾木 敦子  
Atsuko Ogi



この季節には、  
ビタミンをたっぷり。



NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気を予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部ICU病棟 看護師

長谷川 康子  
Yasuko Hasegawa

早寝早起きの生活は、  
三文以上にトク!!



最近「早寝早起き」が見直されていることをご存知ですか？  
私も小さな子を持ち、9時くらいに寝かしつけた後、一緒に寝てしまつてとが多いのですが、早く寝ると、朝に余裕が持てて気分も良く、すっきり起きることが出来ます。これは、精神安定に関係のあるホルモンのひとつである「メラトニン」の分泌が関係しているそうです。このホルモンは、光によつて分泌が抑制される物質で、通常は夜に多く分泌されます。夜更かして光を長時間浴びていると、必然的にメラトニンの分泌量が少なくなり、精神的に不安定になりやすくなるのです。

最近「早寝早起き」が見直されていることをご存知ですか？  
私も小さな子を持ち、9時くらいに寝かしつけた後、一緒に寝てしまつてとが多いのですが、早く寝ると、朝に余裕が持てて気分も良く、すっきり起きることが出来ます。これは、精神安定に関係のあるホルモンのひとつである「メラトニン」の分泌が関係しているそうです。このホルモンは、光によつて分泌が抑制される物質で、通常は夜に多く分泌されます。夜更かして光を長時間浴びていると、必然的にメラトニンの分泌量が少なくなり、精神的に不安定になりやすくなるのです。

うに早めに眠りにつき、その分、早起きして心身を活動モードにチェンジすると精神を安定させられるので、日中のストレスに対処するために、も役立つのです。

夜に脳を興奮させないよう、早寝をする場合、夜には自分の時間はあまりありませんが、その分、朝に体を動かしたり、自由に時間を使つて脳に刺激を与えれば、心身を気持ちよく目覚めさせることができます。出勤する時には脳は完全に目覚めていたので、通勤電車での読書や勉強もはかどります。さらに、すでに心身が十分に活動モードになっているため、仕事への集中力も高まり、エネルギーも期待できるといっわけです。忙しい時期に加え、残業や飲み会などで、どうしても早寝が難しいこともありますが、完壁な早起きになる必要はありません。できる範囲で実行して、「早起き生活」を楽しんで活用してみるのは、いかがでしょうか。

うに早めに眠りにつき、その分、早起きして心身を活動モードにチェンジすると精神を安定させられるので、日中のストレスに対処するために、も役立つのです。

早起き生活を楽しんで活用してみるのは、いかがでしょうか。



## FACE of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 内科  
江端 一彦先生  
Kazubiko Ebata



海釣りでも  
リラックス&リフレッシュ。  
若狭湾の景色が、  
気持ちを和ませてくれます。

今回は  
江端先生が紹介する  
Next Doctor

江端先生

ドクターの「プライベート拝見」  
数珠つなぎ

松井寿美  
先生

カナダでのサーモンフィッシング、時間も忘れて楽しみました。  
今でも、ヒットの瞬間を手が覚えています。



私の趣味は海釣り。といっても釣りに夢中という訳ではなく、海の近くにいることが好きなんです。舟の上で無心に釣り糸を垂らしていると、日頃の緊張感が解けてリフレッシュできるんですよ。ですから魚の種類にはあまりこだわりません。鰯やカワハギ、鯖、鯛など、旬のものを楽しむのが私の流儀。もちろん釣った魚は美味しいいただきます。いまは調理の方は妻に任せていますが、以前は自分で捌いて、家族に刺身をふるまったりしていたんですよ。

釣り場に行っているのは若狭湾。滋賀県北部のマキノの生まれで、子

もの頃から海水浴などでしばしば訪れていたからなじみがあり、風景を見るとほっとするんです。忙しくてしょっちゅうは行けないのですが、気候のよいときにドライブをかねて出かけています。

昨年はカナダでサーモンフィッシングを体験しました。成果は40～50センチの大作。大自然の中でクルーザーに乗ってのフィッシングはとてもダイナミックで、気持ちよかったですよ。アウトドア派の妻も、もちろん一緒に楽しみました。今度はアラスカなどでもやってみたいと思っています。

## LOVE my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のいいところ。  
こんなところがわたしたちの自慢です。  
病院のここが好き!!

好きな言葉 favorite word  
「気配り」  
星野 ひとみ  
看護部 手術室



スタッフ皆が患者さんに対してだけでなく仲間にも優しいことですね。構えなくてつきあえるので、気持ちよく働けます。私は手術室勤務。命の危険が伴う手術も多く、常に緊張を求められる仕事ですが、患者さんが元気になられた姿を見ると、お役に立てたんだなあ嬉しくなります。実は、リフレッシュしたくて一度現場を離れたんです。でも、やはり看護師はやりがいのある仕事だと思い戻りました。その時の気持ちを忘れずに真摯に取り組んでいきたいと思っています。

好きな言葉 favorite word  
「結ぶ」  
山田 温子  
リハビリテーション課 作業療法士



リハビリの大切さをスタッフ全員が理解していて、療法士の意見を尊重してくれるところです。例えば、病棟の看護師さんに患者さんにとって歩くことが大切だと伝えると、負担が増えることになってもできるだけ希望に添うようしてくれます。皆が患者さんの退院後を考えているんだなあ実感しています。新人が孤立しないように気を配ってくれるのも嬉しいですね。作業療法士になって3年目。これからは中堅として後輩の相談に乗ってあげられるようになりたいです。

好きな言葉 favorite word  
「初心」  
谷口 俊彦  
事務部 医事課 係長



ズバリ、誇りを持って働けることです。事務部というと、ただコンピュータ相手にデータ処理をしているというイメージがありませんか。ここでは受付としてドクターに救急患者さんの連絡をしたり、実際にカルテを見ながら「これはどういう治療をされたのですか、この検査はいつ行われたのですか」と質問したり、現場と結びついた仕事をしているんですよ。医療機関の一員として一緒に患者さんの治療に当たっていると実感できて、毎日が充実しています。

好きな言葉 favorite word  
「前向き」  
山下 綾乃  
健康増進部



全員がしっかりしたプロ意識をもち、どうすればより患者さんのためになるかを考えて動いているので、働きがいがありますね。私も健康診断の受付担当として、できるだけ気持ちよく受検してもらえよう健診の方と患者さんとの接触を少なくするなどの配慮を心がけています。また、結果にも関心をもって生活改善に繋げていただけるよう説明などにも工夫をしています。早期に病気が見つかることが第一。忙しくても必ず年一回は受けていただきたいですね。

第3回京都九条病院 病診・病病連携セミナー

主催 京都九条病院



昨年の12月13日(土)、京都東急ホテルにて、当院および他病院・診療所の医師、地域担当者を対象とした「第3回京都九条病院 病診・病病連携セミナー」を開催致しました。これは当院と地域の病院・診療所との連携、また当院のスタッフ間の連携を促進し、地域医療サービスのさらなる充実を図る目的で毎年行っているものです。

3回目となる今回は、当院が近年進めてきた先進的な取り組みを中心に発表が行われ、出席者の注目を集めるものとなりました。またセミナーを通して、グループ間、他の医療機関との間で活発な情報交換が図られ、当院の医療に対する理解が高まると同時に、相互の交流も深まりました。この成果はさらなる地域医療の前進に繋がると期待しています。



セミナーはリハビリテーション部の稲岡部長より京都九条病院リハビリテーションの現状とこれからの課題についての話で始まり、このなかで、「本当に患者さんお一人お一人の暮らしにあったリハビリを行っているのか、退院後の経過も追っていききたい」と、現状に満足せず、常によりよいリハビリを目指していく決意を述べられました。

次に、脳神経外科の平井誠先生が「京都九条病院脳卒中センター」(Stroke Care Unit(SCU))、「京都九条病院stroke team」について、なぜ必要になったのか、構成や役割、また現在どのように機能しているのかを発表され、こうした取り組みによって京都九条病院が京都府保健医療計画(健やか長寿の京都ビジョン)で「脳卒中の急性期医療を担う医療機関」の指

定を受けたことを報告。引き続きSCUスタッフ、高橋美香看護師)から、看護師のスキルアップのための取り組みや、地域社会に還元するための市民講習会などの活動報告がありました。

第二部では、消化器内視鏡センター長、消化器内科部長の光藤章二先生が「稼働し始めた京都府消化器診断ネットワーク(カプセル内視鏡による小腸診断)」と題して講演。カプセル内視鏡の構造やスペックなどについて紹介するとともに、どのようにカプセル内視鏡が優れているのかその長所を詳しく、かつ楽しく説明いただきました。また、昨年7月から京都府消化器診断ネットワークが本格稼働し、すでに京都府以外からもオファーが来ていることを報告すると、参加者から熱心な質問が相次ぎ、関心の高さがうかがわれました。

わたしたちは、これからセミナー開催をはじめさまざまな機会を通して同僚グループ内の連携、そして他の医療機関との連携を強化し、地域の方々への安心な暮らしに貢献できるよう、よりよい医療を提供していきたいと考えています。

医療法人同仁会(社団)  
**京都九条病院**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10  
 TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院  
**訪問看護ステーション・مام**  
 〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16  
 TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam\_s/

医療法人同仁会(社団)  
**同仁会クリニック**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30  
 TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団)  
**介護老人保健施設 マム フローラ**  
 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2  
 TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam\_f/

京都市唐橋地域包括支援センター  
**京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10  
 TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam\_s/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)  
**同仁会疾病予防研究所**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30  
 TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135 www.do-clinic.com/yobo/

医療法人同仁会(社団)  
**介護老人保健施設 マム クオーレ**  
 〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3  
 TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam\_c/

医療法人同仁会(社団)  
**居宅介護支援 マムステーション**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10  
 TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam\_s/

京都九条病院(提携) 同仁会クリニック(併設)  
**メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN**  
 〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30  
 TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/